

川崎市立菅生中学校

神川 遥 碧

電気とともにある未来

お風呂に入ろうとしたらお湯が出なくなっ
てしまった。故障したようだ。すぐ修理屋を
呼んだが根本的に壊れてしまった。直らなかつ
た。そして何日間か入ることができなかつた。
とても困った。その時、電気の大切さが改め
てわかった。高度経済成長中、日本は電気係
の製品の冷蔵庫や洗濯機、灯かりなどを発展
させこいた。人間が成長してこくにつれて
物も発展してこく。これから世の中に大切な
のは永久に失わなかつた。デメリットが生
じなかつた。電気をつくることだ。

例えば今、再生可能エネルギーやバイオエ
ネルギーといつたさまざまな方法で電気をつ
くつてこる。そのこつに今問題となつてこる
原子力かというのがある。昔は火かなどがよく
使用されてこた地球温暖化の原因となつてこ
る二酸化炭素を出してしまつた。火々に
比べて、原子力は二酸化炭素を出さなかつた。
他の問題が起こりうるかもしれない。このよ

うに、どれにでもリスクを負ってしまおう。
ぼくはゲームをするのが好きだが、父が子供だったころの家庭用ゲーム機からすれば、テクノロジーの進歩による現代のテレビゲームのグラフィックの進化は実々と区別ができないくらいきれいですばらしいと思う。ゲームの世界でも人間は次々と色々なものを開発して、次世代のゲーム機は今想像もつかないようなハイテクのものが生まれるかもしれない。環境はない。そうであれば、電気に関しても、環境にやさしい、地球を汚染しないような革新的な発明ができるかもしれない。電気とともにある暮らしを守るために、そういった発明を望んでいて、自分にも何が出来るかを考えていきたい。